

Soy Food Land



オーケー食品工業
海外営業部 部長
野寄 はるかさん



tenrai
代表取締役医師
桐村 里紗さん



アサヒコ
代表取締役
池田 未央さん



シュワルツ・ファームズ
パートナー&オーナー
ダン・シュワルツさん



サウスダコタ州大豆生産農家
全米大豆基金財団
マイク・マクレイニーさん

USSEC サステナビリティ シンポジウム 2023

大豆が拓く持続可能な未来 ＜Soy Food and Sustainable Future＞

アメリカ大豆輸出協会（以下、USSEC）主催のオンラインシンポジウム「USSEC サステナビリティ シンポジウム 2023」が15人に及ぶ登壇者を迎え、2023年6月28日に開催された。各講演の要旨から、大豆の持続可能な未来、日本企業の新たなビジネスチャンスを探っていきたい。

サステナブルフードとして 進化する大豆ビジネス

シンポジウム冒頭では、在日米国大使館農務担当公使のモーガン・パーキンズさんが、「大豆の持続可能な未来について、参加者の皆さんと考えていきたい」と今回のテーマを掲げた。

続いてニューラルCEOの夫馬賢治さんがキーノートスピーチを行った。「近年のパンデミックや紛争、気候変動などの影響による価格高騰や『食料安全保障』問題などを背景に、農業の持続可能性をいかに高めるかが、全世界的な課題となっています。いち早く環境破壊の規制整備に動いたEUなどに適応するには、SSAP認証のような信頼性の高い原材料の認証システムを活用することが不可欠です」。

世界大豆機能研究会のマーク・メシーナさんは、「大豆は、たんばく質と脂肪を多く含んでおり、今後、世界人口全体が必要とするエネルギー量やたんばく質を補うことが期待されます。サルコペニアの予防、乳がんリスク低減など、健康面での利点も多く報告されています。また、大気中の窒素を固定するなど、サステナブルな食品でもあります」と大豆のメリットを語った。

原料メーカーIFFのミッシェル・リーさんは、世界的にプロテイン強化食品が増えている背景に、「消費者の健康に関する意識の変化」「利便性へのニーズの高まり」「健康は意識しつつ食事を楽しみたいという欲求」の3つのトレンドがある」と分析した。

続いて、USSECのロズ・リークさんが「現在日本に輸入されるアメリカ大豆の9割以上が認証付きとなり、400以上の大豆製品にSSAP認証マークが付けられるようになりました」と報告。米国大豆農家のマイク・マクレイニーさんは最先端技術による農地管理について、ダン・シュワルツさんは栄養ニーズと持続可能性に大きな役割を果たしていくという覚悟を語った。

大豆食文化を世界へ 各メーカーの挑戦

企業講演に登壇したアサヒコの池田未央さんは、「豆腐パーをはじめとする弊社の商品のコンセプトの1つである『持続可能な植物性たんばく質を摂ろう』を具現化するための重要なキーマンがSSAP認証大豆です。お客様に原料へのこだわりや正しい知識を伝えるため、今年からはパッケージに認証マークとともに、その説明文も記載しています」とサステナブルな活動を消費者へアピールすることの重要性を強調した。

医師の桐村里紗さんは、和食は、地球全体の健康を考えると「プラネタリーヘルスダイエット」という考えに近く、大豆は健康と地球環境の両方に寄与する食品といえる。今後も「和食文化」を広げていきたいと話した。続くオーケー食品工業の野寄はるかさんは、「2010年ごろから本格的に海外輸出し、現在はヨーロッパなどに足を運んで、活動しています。その過程で取引企業から『サステナブルな原料調達』などの証明を求められることがあり、大豆についてはSSAP認証大豆を使っていることでクリアでき、認証の意義を再認識しました」と自身の経験を語った。

太子食品工業の工藤裕平さんは、「近年の製品価格上昇によって、サプライチェーン全体が大きな変化を求められている今だからこそ、業界の方々と連携してSSAP認証を活用し、サステナビリティが新たな価値となるように取り組んでいきたいと思っています」と抱負を語った。

最後に、モデレーターの日経BP総合研究所 藤井省吾は、「日本は、関係諸国と連携し合って食料調達していかなければなりません。良い連携、良いコミュニケーションで、大豆を中心とした和食文化を世界に発信していきたいと思っています」と締めくくった。

※「SSAP認証」……USSECが策定した「アメリカ大豆サステナビリティ認証プログラム（SSAP）」は、アメリカ大豆がサステナブル環境への負荷を最小限に抑えた持続可能な農法で生産・管理された大豆であることを認証するシステム。



モデレーター
日経BP 総合研究所
主席研究員
藤井 省吾



USSEC
日本副代表
立石 雅子さん



埼玉糧穀
代表取締役社長
相原 宏一朗さん



日本豆腐協会
会長
三好 兼治さん



太子食品工業
代表取締役副社長
工藤 裕平さん



USSEC
市場アクセス、戦略担当
エクゼクティブディレクター／
北東アジア地域ディレクター
ロズ・リークさん



IFF
（International Flavors &
Fragrances Inc.）
グレーターアジア地域
マーケティングリーダー
ミッシェル・リーさん



世界大豆機能研究会
（Soy Nutrition Institute Global）
栄養科学・研究ディレクター
マーク・メシーナさん



ニューラル CEO
信州大学 特任教授
夫馬 賢治さん



在日米国大使館
農務担当公使
モーガン・パーキンズさん